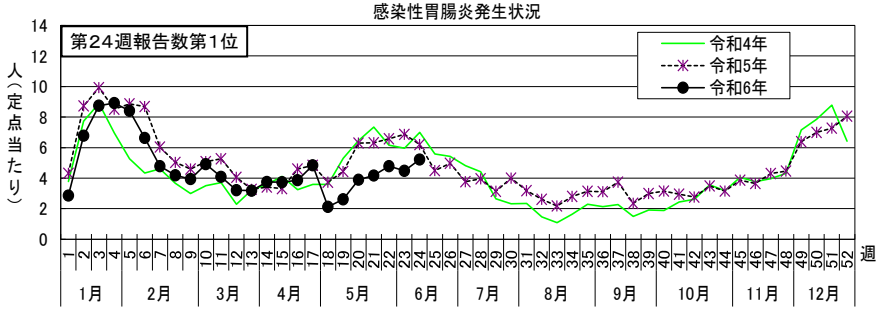
今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

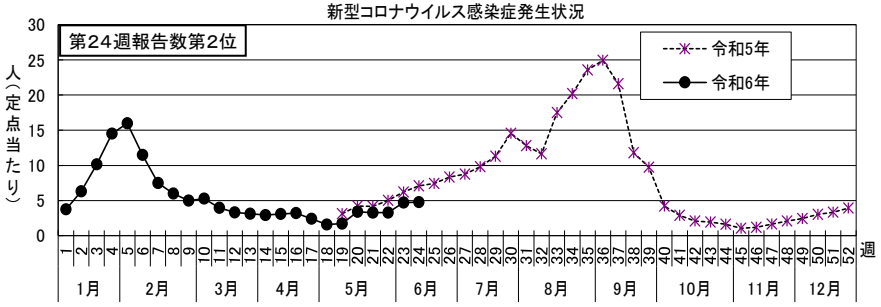
令和６年6月１０日（月）～令和6年6月１６日（日）〔令和６年第２４週〕の感染症発生状況

第２４週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、１）**感染性胃腸炎**　２）**新型コロナウイルス感染症**　３）**手足口病**でした。
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は５．２２人と前週（４．４７人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は４．７８人と前週（４．７２人）から横ばいでした。
手足口病の定点当たり患者報告数は４．１４人と前週（２．４２人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

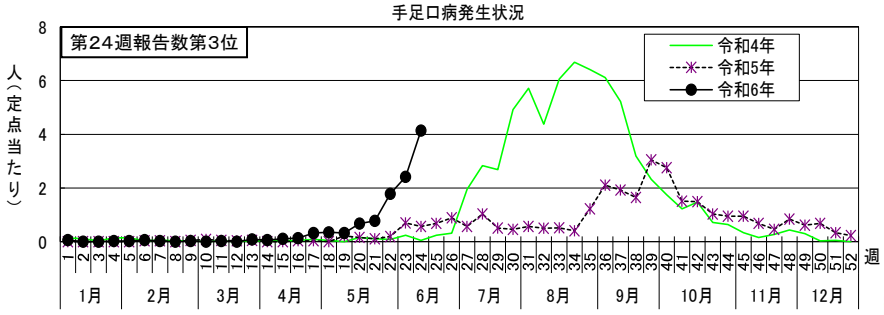
感染性胃腸炎発生状況



新型コロナウイルス感染症発生状況



手足口病発生状況



こんな病気知っていますか？～デング熱～

　デング熱は、デングウイルスを持っている蚊に刺されることで発症する感染症です。突然の発熱に続き、頭痛や筋肉痛、発しんなどの症状を呈した後、通常は１週間程度で軽快します。しかし、まれに発熱の２～７日後に出血症状（デング出血熱）やショック症状（デングショック症候群）が出現し、適切な治療が行われなければ死に至ることもあります。

　令和５年以降、世界的にデング熱の患者数が急増しており、特に中南米及び東南アジアの一部の国を中心に大きな流行がみられています。流行国に渡航する場合は事前に流行状況を確認の上、虫よけ剤を使用する、できる限り肌の露出を控えるなど、蚊に刺されないように注意しましょう。

デング熱とは？

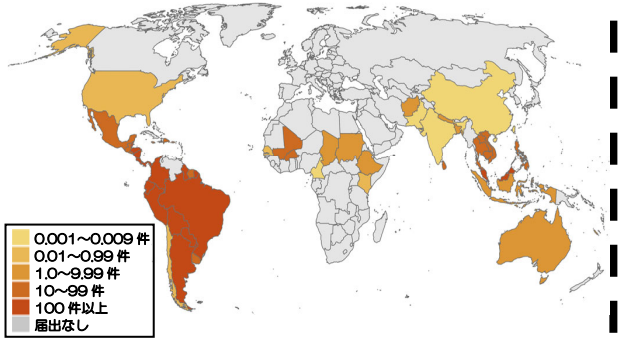
【病原体】
デングウイルス

【感染経路】
デングウイルスを保有する蚊（ネッタイシマカ、ヒトスジシマカ）に刺されることで感染
※人から人に感染することはありませんが、デングウイルスに感染している人が蚊に刺されると、蚊を介して感染が広がる可能性があります。

【潜伏期間】
２～１４日（多くは３～７日）

【症状】
突然の発熱、頭痛、関節・筋肉痛、発しん等
※まれに出血症状が出現し、重症化することもあります。

世界におけるデング熱の国別届出数（人口10万人対）
－令和6年2月～4月－



令和６年６月時点の欧州疾病対策予防センター（ＥＣＤＣ）ホームページデータから作成

川崎市
KAWASAKI CITY

発行　川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当・
各区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）
（問合せ先）０４４－２７６－８２５０　　令和６年６月１８日作成